

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【公開番号】特開2014-157824(P2014-157824A)

【公開日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-046

【出願番号】特願2014-60867(P2014-60867)

【国際特許分類】

H 05 B 3/56 (2006.01)

H 05 B 3/20 (2006.01)

H 05 B 3/34 (2006.01)

【F I】

H 05 B 3/56 A

H 05 B 3/20 3 6 1

H 05 B 3/34

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月7日(2015.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

導電糸で複数のループを形成し、該ループ同士を相互に絡めることによって編み込んで一枚に形成された布地と、

電極糸によって構成され、前記布地に間隔を空けて設けられた電極部と、を備え、

前記導電糸が、纖維からなる芯線と、該芯線の表面を被覆する導電層又は導電性を有する箔とで構成され、

前記電極部は、前記布地の一面側に縫い込まれる第1電極糸と前記布地の他面側に縫い込まれる第2電極糸とによって飾り縫いされて構成され、

前記飾り縫いは、前記第1電極糸により、相互に平行をなす平行部分と、当該平行部分と直交する方向に当該平行部分同士を連絡する部分と、前記平行部分を斜めに横切る方向に前記平行部分同士を連絡する部分とが前記布地の一面側に構成されると共に、前記第2電極糸が前記平行部分に対応する位置にて破線をなして縫い込まれることにより前記第1電極糸の前記平行部分を固定して、前記第1電極糸の縫い込まれた形状を維持することにより構成されていることを特徴とする布ヒータ。

【請求項2】

導電糸で複数のループを連ねて形成し、該ループ同士を相互に絡めることによって編み込んで一枚に形成された布地と、

電極糸によって構成され、前記布地に間隔を空けて設けられた電極部と、を備え、

前記導電糸が、1又は複数の導電性素線を少なくとも有した集合線で構成され、

前記電極部は、前記布地の一面側に縫い込まれる第1電極糸と前記布地の他面側に縫い込まれる第2電極糸とによって飾り縫いされて構成され、

前記飾り縫いは、前記第1電極糸により、相互に平行をなす平行部分と、当該平行部分と直交する方向に当該平行部分同士を連絡する部分と、前記平行部分を斜めに横切る方向に前記平行部分同士を連絡する部分とが前記布地の一面側に構成されると共に、前記第2電極糸が前記平行部分に対応する位置にて破線をなして縫い込まれることにより前記第1

電極糸の前記平行部分を固定して、前記第1電極糸の縫い込まれた形状を維持することにより構成されていることを特徴とする布ヒータ。